国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 23 年 12 月 26 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高 公久
電話番号　　03-5572-0233

オーストラリア　西豪州沖合コニストンユニット（油田開発プロジェクト）開発移行決定について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社であるアルファ石油株式会社を通じて権益を保有している、オーストラリア連邦西オーストラリア州沖合 WA-35-L 鉱区、及び同鉱区北部に隣接する WA-44-R 鉱区に跨るコニストンユニットの開発移行を決定しましたので、お知らせいたします。この決定により、2013 年第 4 四半期の原油生産開始に向けて本格的な開発作業に着手いたします。

アルファ石油（株）は、コニストンユニットに対して 47.499%の参加権益を保有し、52.501%の権益を保有するアパッチ社（米）をオペレーターとして、同社と共同で事業を実施しております。

コニストンユニットは、当社が開発・生産操業を行っている WA-35-L 鉱区ヴァンゴッホ油田の北方約 6km、また同じく当社が開発・生産操業を行っている WA-155-P 鉱区ラベンスワース油田の北西 15km に位置する油田開発プロジェクトです。同ユニットは、海底仕上げ井と、近傍のヴァンゴッホ油田の開発・生産事業で使用されている洋上石油生産・貯油・出荷施設（FPSO : Floating Production Storage and Offloading）を利用する開発方式を採用し、原油の当初 1 年間の平均日産量は日産 21,500 バレルと見込まれます。

当社は、オーストラリア連邦において、子会社の INPEX Ichthys Pty Ltd など豪州グループ会社を通じて、世界的にも大規模な LNG プロジェクトであるイクシスプロジェクトの開発準備作業を推進しているほか、ヴァンゴッホ油田およびラベンスワース油田の生産事業にも参画しております。このほか、保有している探鉱鉱区での事業の推進を含め、今後ともオーストラリアでの当社グループの事業展開に積極的に取り組んでまいります。

以上

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

＜鉱区概要＞

エリア(面積)	コニストンユニット(WA-35-L および WA-44-R) (45km²)
権益比率※	アパッチ社 52.501%（オペレーター） アルファ石油（株） 47.499%
鉱区位置	ヴァンゴッホ油田 北方約 6km ラベンスワース油田 北西約 15km
水深	約 380m

※ 2012 年 1 月以降（予定）。

＜鉱区位置図＞

